

米国 大幅な値下げ等で高い伸びとなった12月の反動 (2007年1月小売売上高)

発表日：2007年2月14日(水)

～それでも小売売上高(除く自動車・ガソリン・建材)は前月比+0.4%と堅調さ維持～

第一生命経済研究所 経済調査部

桂畑 誠治(かつらはた せいじ)

(03-5221-5001 : sei.ji@dlri.dai-ichi-life.co.jp)

小売・飲食サービス売上高 (Retail and Food Services Sales)

	小売・飲食サービス売上高		耐久財関連 (*1)				非耐久財関連 (*2)			
		除く車		自動車	家具	家電		衣料品	ガソリン	
06/04	+0.7	(+7.0)	+0.7	▲0.3	+0.4	+0.6	+0.3	+1.4	+0.5	+5.7
06/05	+0.2	(+7.6)	+0.8	▲1.2	▲2.1	+0.5	+0.8	+1.1	+0.7	+2.0
06/06	▲0.5	(+5.3)	▲0.0	▲1.8	▲2.4	+0.9	▲0.5	+0.2	+0.5	+0.1
06/07	+1.4	(+4.8)	+0.7	+2.7	+4.1	▲0.1	+0.7	+0.7	+1.2	+1.5
06/08	+0.0	(+6.3)	+0.1	▲0.2	▲0.3	+0.8	+0.0	▲0.1	▲0.2	▲1.2
06/09	▲0.6	(+5.5)	▲1.0	+0.2	+0.9	+0.3	+0.5	▲1.4	+2.9	▲9.8
06/10	▲0.2	(+4.7)	▲0.5	+0.2	+0.8	▲0.7	▲0.1	▲0.6	▲1.7	▲4.5
06/11	+0.4	(+4.5)	+0.6	+0.3	▲0.3	▲0.7	+4.9	+0.6	▲0.6	+2.4
06/12	+1.2	(+5.7)	+1.3	+0.9	+1.0	▲0.0	+1.8	+1.1	+1.1	+3.6
07/01	▲0.0	(+2.3)	+0.3	▲0.6	▲1.3	+0.8	▲1.2	+0.5	+1.0	▲0.7

(出所) 商務省 (Department of Commerce)

(注) 数字は季調済前月比。但し、() 内は前年同月比 (未季調)。

*1: 耐久財関連は、自動車・家具・家電・建材関連の売上合計。

*2: 非耐久財関連は、小売売上高の合計から、耐久財関連を除いたもの。

自動車を除く小売売上高は前月比+0.3%と表面的には市場予想を小幅下回った

2007年1月の小売・飲食サービス売上高は、前月比+0.0%と前月の同+1.2%から減速し、市場予想の同+0.3%を小幅下回った (11、12月合計で0.1%ポイント上方改定)。

項目別にみると、耐久財では住宅販売の増加や値下げ販売等によって家具が増加に転じた。一方、12月に大幅な値下げによって押し上げられた家電は反動で減少した。さらに、販売台数では小幅減少にとどまった自動車が金額ベースで大幅な減少となり、耐久財は5ヶ月ぶりの減少となった。また、非耐久財では建設資材の拡大ペースが加速し、月半ばからの気温の低下によって冬物の売上が増加した衣料品販売が高い伸びを維持した。しかし、月半ばからの天候の悪化を映じた飲食店売上の減少に加えて、ガソリン価格の下落に伴いガソリンスタンド売上が減少し、非耐久財全体の伸びを抑制した。

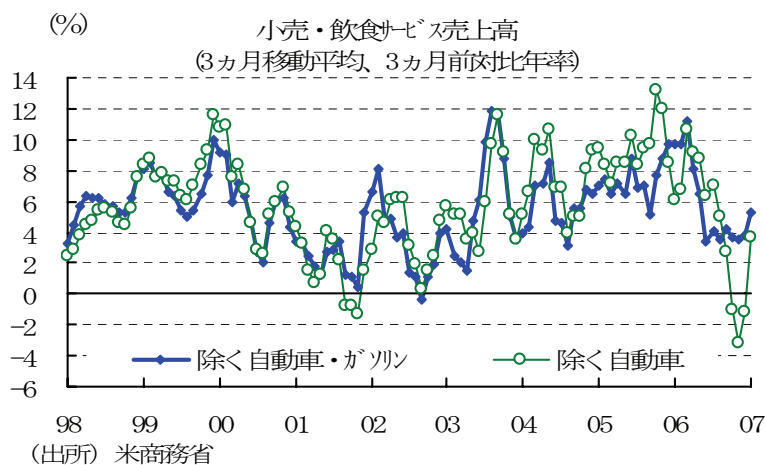
変動の大きい自動車を除く小売・飲食サービス売上高も、自動車を除く上記の要因によって前月比+0.3% (前月同+1.3%) とプラス幅が縮小した。ただし、11、12月合計で0.2%ポイント上方改定されており、実態は市場予想の同+0.4%を小幅上回った。

全体からガソリンを除いた小売・飲食サービス売上高は前月比+0.1% (同+1.0%) と減速した。以上のように、1月の小売売上高は、雇用・所得の拡大、株高、住宅資産を担保とした借り入れの拡大が続くなか、クリスマス商戦での大幅な値下げ販売の反動によって減速した。

小売売上高は堅調さを維持

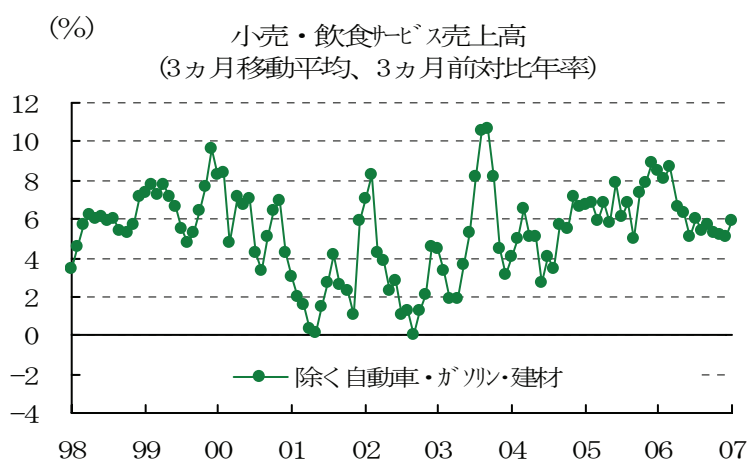
3ヵ月移動平均・3ヵ月前対比年率でみると、変動の大きい自動車を除く小売・飲食サービス売上高は+3.7% (前月▲1.1%) とプラスに転じた。ガソリン販売が11、12月

と増加した影響もありモメンタムが加速した。このようなガソリン価格変動の影響を除くために自動車・ガソリン販売を除く小売・飲食サービス売上高をみると、1月に+5.3%（同+3.8%）と高い伸びとなっており、消費は堅調さを維持していると判断される。

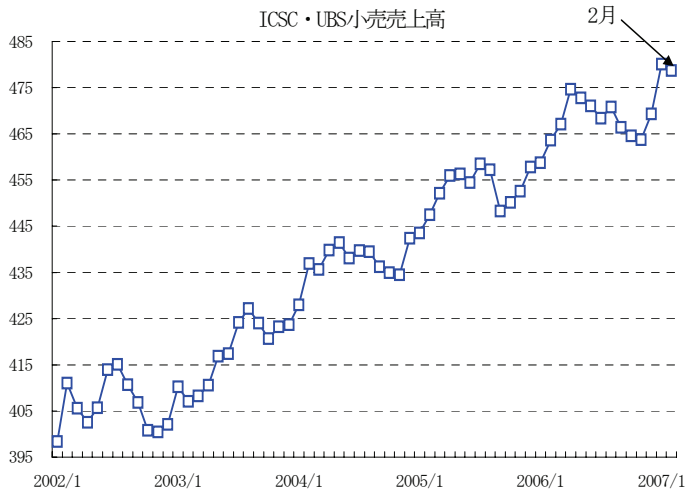


小売・飲食サービス売上高（除く自動車・ガソリン・建材）は、3ヵ月移動平均・3ヵ月前対比年率では+5.5%（前月+4.9%）と加速

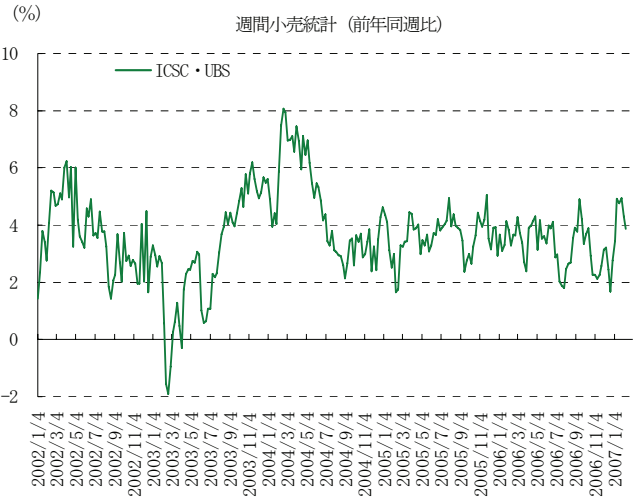
GDPベースの個人消費算出に使われる小売・飲食サービス売上高（除く自動車・ガソリン・建材）は、1月に前月比+0.4%（前月同+1.0%）、3ヵ月移動平均・3ヵ月前対比年率でも+5.9%（前月+5.1%）と加速し高い伸びとなった。ただし、2月第1週のチェーンストア小売売上高が前月比▲0.3%、前年比+3.2%とエネルギー価格の上昇等を背景に減速しており過熱感はない。このことから、2007年1～3月期の実質個人消費は前期比年率+3%台前半と2006年10～12月期の同+4.4%から小幅減速が予想される。



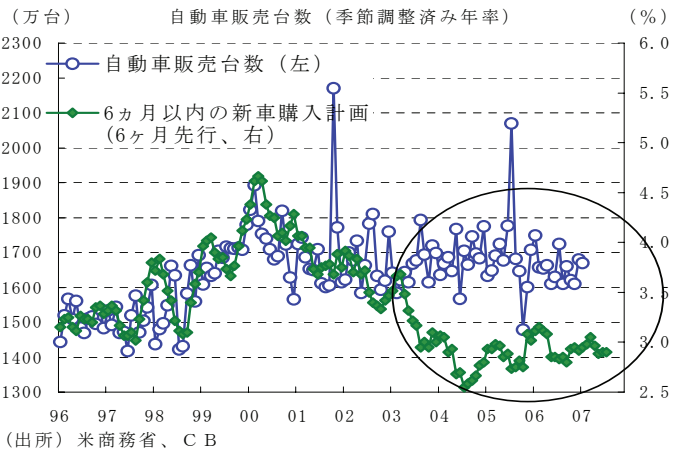
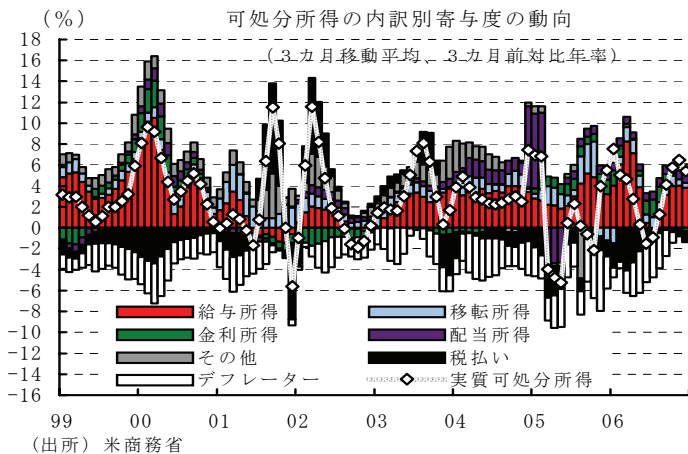
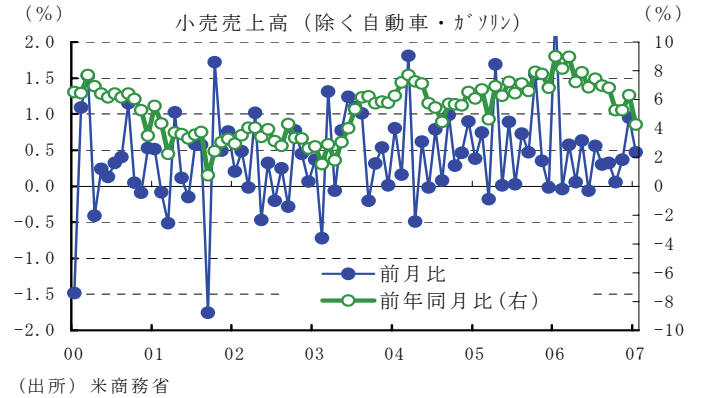
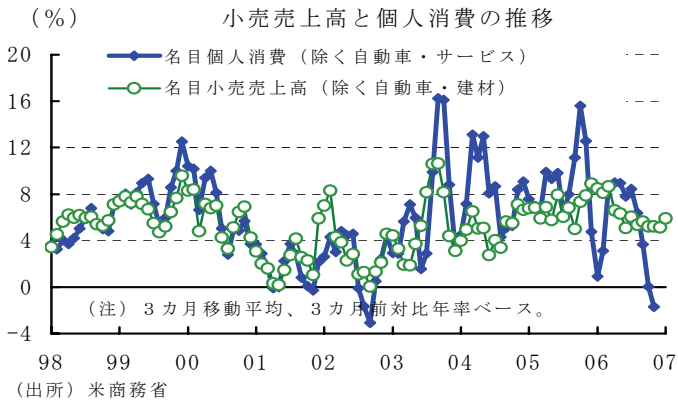
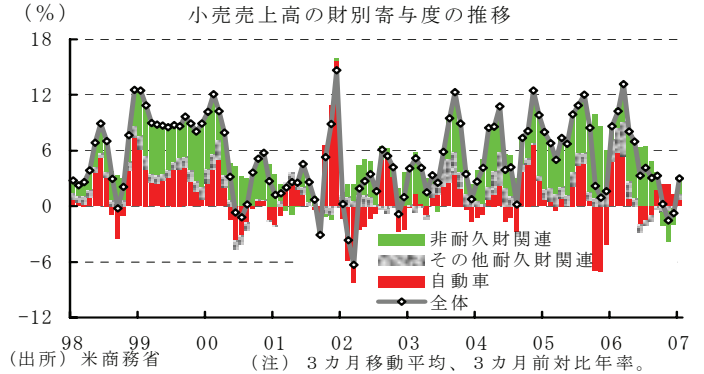
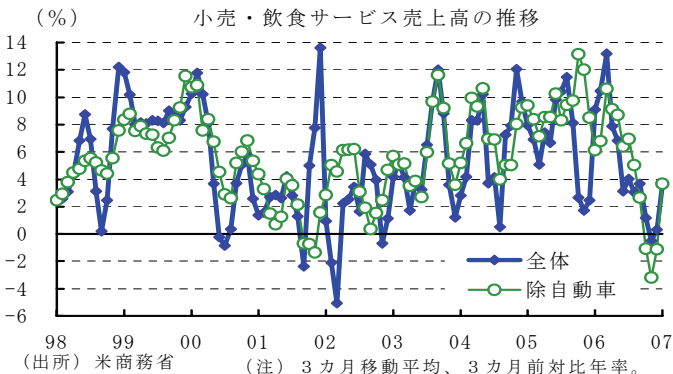
本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。



(出所) ICSC・UBS



(出所) ICSC・UBS



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるととは限りません。